

# HLAB OBUSE2019 に参加して

まず、今回私が参加した HLAB のサマースクールについて紹介します。高校生 50 人、大学生 40 人（内 10 人くらいは外国人）ほどで 1 週間生活します。海外大学生の教えるセミナー（大学生の今学んでいることなどについて教えてもらえるので、本当に様々なことが学べます。授業は英語のことが多いですが、訳してもらえます）、社会人ゲストによる講演、その他カリキュラムがメインです。

ここからは私の感じたことを 2 点書きます。

まず、私の中での英語の在り方が大きく変わったのではないかと思います。私にとっての英語は勉強科目の一つでしかなく、使っているところが全く想像出来ない、という状況でした。なので、まず、「自分の英語が通じた」ということに新鮮さと驚きを感じました。

また、HLAB にはいろんな国籍の方がいたのですが、みんなが英語を通じてコミュニケーションをとれていて、英語が「世界の共通言語」と言われている理由を実感しました。何より、外国の人と話すのは本当に楽しいです！（もちろん日本人の学生と話すのも楽しかったです）

私は今回 HLAB に行って英語を「勉強」よりも「コミュニケーションツール」として捉えるようになりました。とはいえ言いたくても言えない、伝えられない、ということがたくさんあって、もっと英語を話せるようになりたい、と思うことが多く、英語を学ぶモチベーションの向上にもなったと思います。

次に、進路について悩んでいたことを相談できたのが大きな収穫の一つだと思います。大学生や同年代の学生に相談しても、みんな真剣に話を聞いてくれますし、相手の悩みを聞いて考える機会も本当にたくさんありました。特に高校生リフレクション（高校生同士で、様々なことを話します）とフリーインタラクション（多様なバックグラウンドをもつ社会人ゲストの方々に好きなようにお話が聞けます）ではとても深い話ことができました。

最後に、私は英語が本当に全然できず、不安だらけで今回のサマースクールに参加しましたが、本当に楽しい 1 週間で、行ってよかったと心から思っています。もし興味のある方がいたらぜひ参加してほしいなあと思います！

（1 年 小林 悠理）